

(3) (1)、(2)で「行われている」とお答えの方、その場所と農薬の種類、製品（商品）名をご存知でしたらお書き下さい。（複数回答可）

イ. 場 所

空 き 地	88 (45.6%)
公 園	70 (36.3 )
グラウンド	18 ( 9.3 )
学校、幼稚園・保育園の庭	27 (14.0 )
そ の 他	44 (22.8 )
不 明	33 (17.1 )
計	193

ロ. 農薬の種類

除 草 剤	101 (52.3%)
殺 虫 剤	74 (38.3 )
燻 蒸 剤	2 ( 1.0 )
殺 菌 剤	4 ( 2.1 )
そ の 他	0 ( 0 )
不 明	44 (22.8 )
計	193

問6(1) 先生は農薬散布（空中散布、地上散布）によって、ご自身や知人等のペット（犬、猫）、小鳥、昆虫、魚、家畜類が被害を受けたことがありますか。

受 け た	78 ( 6.6%)
受 け ない	1058 (89.4 )
不 明	47 ( 4.0 )
計	1183

	受けた	受けない	不 明
市 街 地	54 ( 6.9%)	697(89.2 )	30( 3.8 )
非市街地	21 ( 6.0 )	315(90.0 )	14( 4.0 )
ゴルフ場が 近くにある地域	8( 6.1 )	115(87.1 )	9( 6.8 )

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. その生物名は何ですか。(複数回答可)

犬	28 (35.9%)
猫	11 (14.1 )
小 鳥	9 (11.5 )
昆 虫	7 ( 9.0 )
魚	25 (32.1 )
家 畜	0 ( 0 )
そ の 他	13 (16.7 )
不 明	4 ( 5.1 )
計	78

ロ. 被害の状態をご存知でしたらお書き下さい。(複数回答可)

死 亡	45 (57.7%)
中毒をおこした	18 (23.1 )
体に農薬がかかった	6 ( 7.7 )
そ の 他	10 (12.8 )
不 明	8 (10.3 )
計	78

ハ. 使用された農薬の種類、製品（商品）名をご存知でしたらお書き下さい。(複数回答可)

A. 農薬の種類

除 草 剤	27 (34.6%)
殺 虫 剤	33 (42.3 )
燻 蒸 剤	1 ( 1.3 )
殺 菌 剤	5 ( 6.4 )
そ の 他	3 ( 3.8 )
不 明	27 (34.6 )
計	78

問7 農薬散布による被害が疑われる症状を見聞きしたことがありますか。

あ る	349 (29.5%)
な い	763 (64.5 )
不 明	71 ( 6.0 )
計	1183

	あ る	な い	不 明
市 街 地	240 (30.7%)	498 (63.8%)	43 ( 5.5%)
非市街地	99 (28.3 )	227 (64.9 )	24 ( 6.9 )
ゴルフ場が 近くにある地域	35 (26.5 )	87 (65.9 )	10 ( 7.6 )

問8(1) 先生ご自身、無農薬、低農薬の農産物（穀物、野菜、果物、茶など）の摂取を心がけていますか。

心がけている	761 (64.3%)
心がけていない	392 (33.1 )
不 明	30 ( 2.5 )
計	1183

(2) (1)で「心がけている」とお答えの方、ご自身で無農薬、低農薬の農産物を作っていますか。

作っている	192 (25.2%)
作っていない	559 (73.5 )
不 明	10 ( 1.3 )
計	761

(3) 先生ご自身が、ご自宅の庭園や家屋などで農薬を使用しないように心がけていますか。

心がけている	663 (56.0%)
心がけていない	118 (10.0 )
どちらともいえない	288 (24.3 )
不 明	114 ( 9.6 )
計	1183

問9(1) 先生の診療所（病院）の近く（ほぼ3km以内）にゴルフ場がありますか。

あ	る	248 (21.0%)
な	い	902 (76.2 )
不	明	33 ( 2.8 )
計		1183

	あ	る	な	い	不	明
市街地	132	(16.9%)	623	(79.8%)	26	( 3.3%)
非市街地	79	(22.6 )	266	(76.0 )	5	( 1.4 )
ゴルフ場が 近くにある地域	106	(80.3 )	25	(18.9 )	1	( 0.8 )

(2) ゴルフ場利用者を含めてゴルフ場関係者および近在の住民の農薬中毒患者（疑いを含む）を見聞きしたことがありますか。

あ	る	100 ( 8.5%)
な	い	1027 (86.8 )
不	明	56 ( 4.7 )
計		1183

患者総数 95人

(3) (2)で「ある」とお答えの方  
その患者は以下のどれにあたりますか。(複数回答可)

ゴルフキャディ・整備員	62
その他のゴルフ場職員	10
ゴルファー	20
ゴルフ場の近くの住人	25
そ の 他	6
不 明	8
計	100

## 症例について

A. 症例報告者：176人

B. 症例総数：230例

C. 症例別

- ・慢性症例：35例（15.2%）
- ・急性症例：195例（84.8%）

D. 症状別分類

1) 眼症状	41例（14.6%）
2) 皮膚症状	98例（35.0%）
3) 鼻咽頭症状	22例（7.9%）
4) 消化器症状（含肝障害）	40例（14.3%）
5) 神経症状（含全身倦怠、脳症）	42例（15.0%）
6) 循環器症状	4例（1.4%）
7) 呼吸器症状（喘息様症状 7）	11例（3.9%）
8) その他（含癌、筋腫、腎障害、胎内死亡等）	22例（7.9%）
合 計	280例

E. 上記症状のうち「その他」の内訳

- ・胎内死亡：1
- ・腎障害：1
- ・筋腫：2
- ・癌：18

F. 業種別分類

1) 農業（含造園業、ハウス栽培）	148例（64.4%）
2) ゴルフ場従業員	37例（16.1%）
3) ゴルファー	12例（5.2%）
4) ゴルフ場付近住民	6例（2.6%）
5) 農村住民	23例（10.0%）
6) その他（都市住民等）	4例（1.7%）
合 計	230例

G. 症状

1. 眼症状にて視力障害を訴え、角膜潰瘍をつくったもの…………… 3 例
2. 皮膚症状の中に障害、表皮脱落、揮裂出血、指紋消失、指先萎縮（除草剤使用）  
…………… 3 例（3 例ともゴルフ場従業員）
3. 子宮筋腫手術…………… 2 例（2 例ともゴルフ場従業員）
4. 消化器症状
  - ・神経症状との合併多し……………25例
  - ・肝障害（一過性のもの）……………10例（農薬使用中）
  - ・肝障害（重症のもの）……………16例（含服毒、誤飲）
5. 呼吸器症状
  - ・喘息様発作あり…………… 6 例

# VI. 自由意見のまとめ

自由意見欄には、1076人からご意見などの記入があり、農薬被害に対する会員の関心の高いことが見られた。

ご意見の内容も多岐にわたっているが、要約して以下のように纏めてみた。

- I. 農薬に対する認識不足が多く、啓蒙の不十分さが見られ、安易に販売、使用されていることから、農薬の危険性の警告、正しい使用方法指導の確立、毒性の研究、PRの必要の強調などのご意見が、342人から寄せられた。
- II. 農薬の空中散布について、52人からの内、50人が中止を要望している。
- III. 農薬については、219人から意見が寄せられ、農薬の使用禁止・使用量の規制を136人、低毒の農薬開発を40人が要望している。
- IV. 農薬使用は悪いと知りつつ使わざるをえない、必要悪だなどのご意見が51人から寄せられている。
- V. ゴルフ場の農薬散布について、149人からご意見があり、農薬散布の中止・規制、使用薬剤の明示など、112人が要望している。また、ゴルフ場の農薬よりも農業に使う農薬の方が問題でないかという意見も26人から寄せられた。
- VI. 身の周りの農薬使用や、農薬被害の防止の現状について、147人から状況が寄せられ、うち、「農薬の被害殆ど見聞していない。」が76人、「最近、農薬の使用が減ってきている。」が7人でした。その他「自然の営みがよみがえる努力が必要」など、48人からご意見が寄せられた。
- VII. アンケート調査について、「今後もこの問題に留意、関心を持ちたい。」19人、「このようなアンケートは重要、協会の運動に期待している。」23人など、その他調査の内容・項目などについても21人から意見があった。また、意見なし、判らないとの記入が13人あった。

上記項目ごとの内訳は別記のとおり。

## I. 農薬の危険性の警告、正しい使用方法指導の確立、毒性の研究、PR. …………… 342件

1) ゴルフ場の農薬散布の規制、指導	91
2) 農薬に対する行政の対応の不十分	73
3) 生産者（農協）指導	
・危険性について無感覚（使用、販売）	47
・防護方法を知らない	12
4) 消費者に対するPR	
・姿形より実質	47
・輸入農産物	21
5) 農薬の危険性のPR	34
6) 慢性農薬被害の研究	11
7) 学校における教育	6

## II. 空中散布について

- 1) 中止意見 ..... 50件  
 必要以外の所にまで散布されている。使用量も多い。被害範囲広い。対策少ない。  
 情報が知らされない。使用時間が守られない。.....
- 2) 空中散布無くなった。 ..... 1件
- 3) 松食虫被害が強いので必要である。 ..... 1件

## III. 農薬使用について ..... 219件

1) 農薬使用禁止	46
2) 農薬使用量の規制	90
3) 低毒の農薬開発	40
4) 無農薬・低農薬野菜の利用	19
5) 無農薬野菜の流通機構の確立	15
6) 地下水の汚染防止	8
7) ハウス栽培の中止	1

## IV. 農薬使用は止むを得ない ..... 51件

1) 悪いと知りつつ使わざるを得ない、必要悪だ	39
2) 農薬禁止で農業経営はどうなるか	4
3) 農薬使用は止むを得ない	8

## V. ゴルフ場の農薬散布について ..... 149件

1) 建設も含めて農薬散布の中止	96
2) 水源付近のゴルフ場の農薬規制	8
3) 農薬の使用薬剤名、使用時期の明示	4
4) ゴルフ場付近の地下水の農薬含有検査	4
5) 農薬使用はやむを得ない	1
6) 医師のゴルファーの意見を聞くべきだ	1
7) 医師はゴルフをやめる・減らすべきだ	9
8) ゴルフ場の農薬よりも、農業に使う農薬の方が問題ではないか	26



# VI. 自由意見(抜粋)の紹介

自由意見欄に寄せられたご意見について、いくつかを紹介します。

## I. 改善のための提案、意見などを述べたもの

「市街からやや離れた地域に蜜柑農家が尚多くあり、春夏収穫期と農薬を散布しないと出荷出来ない果実となる由である。その時期毎に薬が異なるが、被害を最小限にするため、身体防御の仕方、外用薬をうまく使って更に被服によい保護法の指導を続け、20年前よりは患者数の発生が減少したが、それでも除草剤による皮膚炎は可成ある。生産者の保護もさることながら、とれた物を食べる消費者の健康が大切であり、農薬の使われてない食物をどう手に入れるか常に話し合い、農家の人には成るべく使用しない工夫を説く、農協関係者にも常に依頼している。」(静岡、皮・泌)

「高校の周囲の草を除草剤をまいて枯らしているが、近所に白鷺が飛んできたりしているので鳥の環境にも悪いし、農薬の恐さを教師が高校生に教えることもしていないので、葉書で農薬の問題を考えてくれるように依頼をした。」(群馬、内・児)

「植木、花にどんな殺虫剤が良いか不詳の為、雑貨店で売っておるものをそのまま使用している。販売されておるものは内容を見ずに使用するのが一般ではないでしょうか。」(愛知、内・児)

「除草剤は、製剤がラウンドアップ(アミノ酸系の薬剤とのこと)を殆ど使用し、有毒なグラムキソン等は皆使用しなくなっている。伝染病と同じで発芽時期に使用し種子が散乱しないうちに、早期に使用すると少量の量で済み又毎年草が生えなくなる(種子の散布がなくなるから)。手で除草するとか何とか云っても無理であるから、適当な量の無害除草剤の使用は止むを得ない。時期を逸して種子を散乱させると皆の迷惑に却ってなる。殺虫剤は確かに有害であるが、散布後時間殆ど24~48時間も経過すると、浄化されるとかメカははっきりしないが無害となる。駆虫の時期を逸して産卵期を迎えると近所迷惑で他の田畑に迷惑をかけ却って大量の農薬使用必要となる。毎年産卵期を逸しないよう駆除すれば、虫害、虫の発生も少なくなり農薬使用も減少すると思う。一匹、一匹毛虫をとることなど全く不可能である。」(京都、内・児)

「1年以上前にパラコートによる呼吸不全を3例みているが、いずれも自殺目的であった。農作物を外見の美しさで選択し購買している消費者を教育する必要がある。又、それに合せてサイズや色、形、虫くいの完全排除など、厳しい要求を出す流通関係者も反省すべきであろう。」(京都)

「一般開業医の場合、急性重症中毒者よりも、軽症者や他疾患との鑑別が困難な慢性中毒者に接する機会が多いので、まずそれを疑う目を養うこと、それを助けるようなマニュアル等で『啓蒙』することが大切。その中から被害の実態の科学的説明をつみ重ね、その危険性を広く訴えていくことが大切。ゴルフ場の排出基準で逃げられてしまうのではなく、農地全体や家庭に浸透する農薬の実態に目を向けさせていき、従事者、市民双方が結びついた運動とすべきでしょう。」(兵庫・内・児)

「農協のすすめる使用量が多すぎる印象を受ける。例えば、桃は2週間に1度予防しているが、月1回で十分と思われる。私のところでは桃を3、4、5、6各月1回の予防で、7月に収穫している。野菜も出荷前日まで予防している農家が多く、都会での農薬蓄積が気になる。農家の人には自家用に農薬を使用せずに作っており、持って来てきれる野菜は少し虫くいである。」(香川、外・整)

「農業従事者に対する啓蒙(農業被害に対する正しい知識、人体に有益な作物を作るのだという自意識

の昂揚)が必要。無害～低害性農薬の開発にもっと資金を。根本的には農家の労働力(人数だけでなく高齢化)が問題。ゴルフ場などレジャー施設については、商業主義を打開する(キャディ不用、キャディフィーなどサービス業を減らし、芝生管理の費用に回す。)(愛媛、内・児)

「パラコートの使用は禁止した方がよいと思います。自殺の目的で使われる場合、治療は困難です。」(沖縄、内・児)

「輸入食品の農薬使用について、もっと厳正に対処してもらいたい。」(京都、外・整)

「農薬を使用している農業従事者は、殆ど使用説明書を読んでいないようです。何という農薬を使用しているかと尋ねても、薬品名をはっきりと答え得る患者は殆どおりません。」(千葉・内・児)

「深刻な事例は知りませんが、農薬を使いすぎる側の考えとすれば、今の日本人の要求があまりに『きれいなグリーン』『きれいな野菜』と外見ばかりを気にする風潮があると思います。実際に雑草の多いゴルフ場は評判が悪いし、虫くいのある野菜は売物にならないのでは、やはり商業主義に走ってしまうのでしょうか。ただ一般人の考えを改めさせるためにも、ゴルフ経営者、農家が足並みをそろえて『低農薬』を実行していくことだと思います。ゴルフを愛好している医師も多いのですから、農薬を少なくするためにゴルファーとしての医師が集まってアピールしてもよいのではないのでしょうか。」(東京、産・婦)

## 2. 農薬の空中散布について

「空中散布は絶対に困る。農薬を使用せざるを得ない植物には、最小限のものですませる様にすべきと考えます。」(栃木、外・整)

「スギ花粉症をはじめとするアレルギー症状を持つ人が増加しています。原因の一つが農薬にあると信じています。虫魚を殺す薬品が人間という生物にも害になることでしょう。空中散布は風向きなどによっても、必要以外の場所へ広く降ってくるはずです。パンフレットと空中からの呼びかけだけで、勝手に散布するのは身勝手です。農薬散布の必要な人と、必要ない人及び反対の人との折り合い点をみつけての実行だという話は耳にしたことがありません。農家は営農指導という題目をつけた形で、多量の農薬を押しつけられているという見方は偏見でしょうか。量を減らすことが出来るかと思っています。複合汚染の原因の一つが農薬との見解です。」(秋田、歯科)

## 3. 農薬について

「農薬の害については、その短期的な影響もさることながら、長期的影響が特に心配である。人を含めた生物全体への影響を考えるとそれ恐ろしい気持ちになります。当面必要悪としての価値は認め、即時全面禁止とはいかないまでも、厳しい使用制限が必要だと思います。(使用時使用許可や、販売時のチェック等)。しかし、振り返って見ると、我々が使う医薬品も、本当に必要なものなのかどうかという自己反省も又必要だと思います。不要な投薬をしながら農薬の害を訴えるわけにはいきませんから。」(岩手)

「環境汚染(土壌、水質、漬瘍、大気)の立場から極力使用量を減らすべきだし、農作物は勿論だが、ゴルフ場などの農薬使用は原則として禁止すべきである。『健康被害が出ないからよい』という論は未来の遺伝子異常発生の素地をつくることなので、『今は』何ともないということが将来にわたって大丈夫

夫ということの根拠にはならない。祖先から預った地球を余分なものを加えないで子孫に渡したい。」  
(青森、産・婦)

## 4. 農薬使用は止むを得ないという意見

「近郊の田畑を見ていると、まづ雑草が生育しない、推測であるが、農薬、消毒薬が多量に使用されていると思う。自家用は雑草の多い畑の作物、出荷用は雑草の殆ど無い田の作物、これには驚いています。然し乍ら、農家の人を責める訳にはゆかないと思います。キウリ1本 300～400円出すなら話は別ですが、20～30円前後で買うのですから、農薬、消毒薬の使用は当然でしょう。」(千葉、耳)

「私は、診療のかたわら無農薬で田2反、畑1反余りを作っているが、本当に大変である。今、農業従事者が高齢化しているなか、『除草剤は害があるから使うな』とはいいにくい。また、手間をかけて無農薬で農業をしても、生活の保障がない。貧困な農政のしわよせが、農民にきているのではないだろうか。また、農薬の一番の被害者は農業従事者である。」(和歌山、内・児)

「農薬は原則として使わない方がよいことは間違いない。しかし現代の生活下においては、必要悪とも考えられる。皆が農薬使用を禁じようと望むならそのような生活形態に変えていけばよい。ゴルフはやめる、無農薬の農産物或いは食品しか食べない、農薬生産の中止等いくらでも手段はあるだろう。しかし、現在の社会形態でそれができるだろうか……、できない。週休二日制の時代、ゴルフなどやめて無農薬の自宅の農園でも作ったらどうだろうか。」(愛知、内・児)

## 5. ゴルフ場について

「もう日本にはこれ以上ゴルフ場は要らない。」(山口、内・児)

「私自身もゴルフが大好きですし、健康保持のためプレイをしています。ただし農薬の使い過ぎには反対です。フェアウェイには雑草が混じっていても差し支えないと思います。アメリカ風のものでなく、イギリス風のものにすると、人にも動物にも共に共存出来て、理にかなっていると思います。」(長崎、皮)

「ゴルフ場での農薬が話題となっていますが、マスコミがオーバーにとりあげすぎる嫌いがあるようです。私の地域は茶の生産地ですが、茶園に対する農薬の使用は現在も続いています。」(滋賀、内・児)

「近くの川の魚が減っている。これ以上悪化しないよう、ゴルフ場から流れる見ずを水道水の基準以下に農薬を抑えるよう、医師会で自治体に要望した。」(群馬、精・神)

「ゴルフ場農薬問題について。私自身ゴルフをやらないので(ゴルフ場に立入ることがないので)いくつかの素朴な疑問がある。①ゴルフ場ではどうしても農薬使用が必要なのか、②農薬の改良(無害農薬)の見通しはないのか、③ゴルフ場周辺に一般農地のある場合、どちらの農薬がより危険なのか、④ゴルフ愛好ドクターのゴルフ場をのこすためには(ゴルフが出来るためには)どうしたらよいのか?の意見をもっとくみ上げる必要があると思う。一方的にゴルフ場が諸悪の根源と云う理論のすゝめ方では問題解決にならない。」(京都、外・整)

「近くのゴルフ場は世論がやかましくなったせいか、以前のように農薬をひんぱんに散布していないようです。しかし、より監視姿勢は厳しくする必要があります。皮疹とか結膜炎などは以前みていました。」

(熊本、外・整)

「ゴルフ場における使用は、全面的に禁止が望まれる。一部の業者の営利追求の為に多くの人々が被害に会う現実をもっともっと知らしめていく必要がある。」(三重、内・児)

「医師ゴルファーは多いが、農業被害等には無関心ようだ。保険医協会あるいは医師会などが、もう少し声高に叫んでもいいのではないかと思う。」(熊本、内・児)

「近くにゴルフ場設置の話があります。農業の恐ろしさも聞いていますし、とても不安です。しかし、その恐さより、地域の発展を考えている人も多い様です。田舎の宿命なのでしょうが。」(広島、歯)

「目の痛み、ズボンの裾の変色(褐色)などひどいゴルフ場がある。そんなゴルフ場は二度と行きたくないし、そんなゴルフ場近くでとれた果物や野菜等のおみやげ等は絶対に買わない。私自身は形が悪くても低農薬(と云われている)農産物を購入している。」(東京、歯)

## 6. 身の周りの実態について述べたもの

「5km位離れた農村の当主です。30年位前農薬散布(動噴による)を行い、自分の田ばかりか他人の田まで請け負って、常人の3倍位仕事をしましたら、20年位して肺癌にかかり死亡、その息子もリンパ肉腫にて死亡、米に濃縮された農薬の恐ろしさを知りました。当地方には2部落に癌患者が集中しています。稲作の関係か。」(福井、内・児)

「津軽の稲作と林檎の中心地帯で、20年位前にホリドール中毒が多かった時の教訓が生かされて、最近では農業被害は少なく、直接扱っている農家の人でも重症は少なくなったようです。しかし、除草剤やその他の農薬はよく使われており、軽症の慢性の肝障害が多いのは、農薬の故かも知れません。矢張使用量や回数を減らしてゆくべきと思います。」(青森、内・児)

「当院にては、奇形児は最近数年間みていませんが、月によっては流産が多くて気になることがあります。農薬のことはうっかりしていました。職業まで調査してありません。原発従事者の奥さんはよく見掛けますが、流産率に関係ありませんようです。今後少し気をつけてみます。」(静岡、産・婦)

「唇裂・口蓋裂をはじめ体表奇形の治療経験から、とくに唇裂の発生率500人に1人という統計より現在やや増加傾向があるように思われる。原因が農薬等の一原的なものとは考え難いが、環境因子の一つとして考えられるのではないかと思われる。」(大阪、形成外科)

「田植後に除虫、防病の為に水田を収穫するまで何回か消毒し、風下になる際は窓、戸を閉めている。時々除草剤で地面が赤ちゃけた所を散見する。ゴルフ場の農薬に関しては少し関心をもっているが、全くわからない。」(愛知、外・整)

「近くの水田で、農薬散布を見掛けるが通報がない。野性の鳥類にも影響が出ているのではないかと心配である。私の庭の樹木に対して防虫剤は使用しているが、雑草は手で除去している。」(千葉、脳外科・神経内科)

「ここ3年間、ダンゴ虫の発生が異常である。鉄筋コンクリート建の診療所・住宅に侵入してくる。が建物の周辺、庭には一切除草剤、殺虫剤を用いていなかった、隣接地が麦畑でおそらく農薬を2~3種使用しているのであろう。ダンゴ虫やその他、土中にいる虫が私の敷地に逃げてきたものと考えられる。」

(茨城、内・児)

「地下水、井戸水の汚染がひどく、ほとんど飲用出来なくなっている。魚の放流もほとんど出来なくな

ってきて、山の奥地へ奥地へと移動している。昨年11月自宅の井戸水を飲んでいて慢性腸炎を起した例を経験、本年2月地域地方会に症例発表を行った。他にも、特に子供や老人が井戸水を飲んで体調をくずしていると思われる例を2、3経験している。一方、水道普及率は90%、下水道処理は70%と高率であり、統計と実情のギャップを痛感する。」(岐阜・内・児)

「7～8年前、パラコートによる口腔粘膜の広範性潰瘍になった精神発達遅滞患者を入院させた経験あり。」(岐阜・歯科)

「以前より、川釣を趣味にしていますが、畑作地を通して流れる川に、ザリガニ、川エビ、フナ、ウグイなどの生物が居なくなって来ています。当地は玉葱農家が多く、普通の野菜以上に多量の農薬が使用されていると聞きます。ゴルフ場の開発による自然破壊、農薬汚染による生態系のアンバランスは、将来人間にも致命的な悪影響を及ぼすことと思います。」(北海道、歯科)

「患者さんから聞いた話：すごい量の農薬を使用するという話です。キャディさんは、マスク、めがねなど防御しないではいられないとのこと。自宅ではペットを飼っています(犬・猫)。除草剤を撒いてある所の散歩は少し注意しています。なかなかきれいな所がなくて、雑草も生えている所が少なくなっています。除草剤を撒いてある所の散歩は少し注意しています。なかなかきれいな所がなくて、雑草も生えている所が少なくなっています。除草剤を撒いた近くで、犬が死んだという話を聞きました。」(茨城、歯科)

「家庭で使用されている農薬である防虫剤(衣類の虫、ゴキブリ、蠅、蚊etc)についての、人体への影響をもっと宣伝してほしい。」(兵庫、歯)

「約7年前より宅地or農地で200～300坪程耕作して、有機・無農薬栽培を目指しましたが、無農薬は絶対無理と体験しました。柿は一本の木に500個実っても、無農薬では最終的には2～3個になります。野菜等は双葉の時から穴だらけで成長点まで食害され育ちません。いかに低農薬を心掛けるかが大切です。完全無農薬は全くのうそですよ！」(大阪、歯)

## 7. 本調査についての意見

「特にゴルフ場の除草剤散布について、大量散布の状況を見てみると、地下水などへの影響も含めて無害である筈がない。長期にわたる多角的調査を行ってデータを示して改善、廃止を運動として起すべきである。今日のこの種の調査は有意義だと思います。」(秋田、外・整)

「農薬といえば、広い田畑やゴルフ場に散布されるようなイメージであったが、アンケートに答えていて、自分の家の庭の木の駆虫にも用いていることに気付いた。今まで、近所の様子を心かけることもなかったが、恐らく公園学校等でも行われているに違いない。仕事上農薬の接触皮膚炎を考えた症例も以前にはあったが、最近は特に無かった。関心を持ちたい。」(大阪、皮・泌)

「患者・家族の仕事内容、農業、農薬とのかかわりの有無については、特定の少数例を除きカルテからうかがい知れない。全体の設問の流れからのアンケート集計は無理だと存じます。」(大阪、産・婦)

「農家や園芸に使用する農薬に比べれば、ゴルフ場の農薬など取るにたりない。マスコミの偏見的アナウンス効果が目だって嫌である。こんなアンケートをするな。」(奈良、児)

「農薬ではありませんが、日常摂取している食糧品で無用の着色量(色素剤)のみでも、法的に禁止出来ないものかと思います。」(山口、内・児)

# VIII. 調査票

医科用

全国保険医団体連合会 第6回医療研究集会全国共同調査

## 農薬被害に関する実態・意識調査アンケート

協会

各設問の□内に✓印をつけて下さい。また、( )内には直接ご記入下さい。

不明の場合には、無記入のままで結構です。「複数回答可」の指定以外の質問は、必ず1つだけご回答下さるようお願いします。

### 基礎的項目について

(1) 先生の主な診療科目は(1つだけご記入下さい)

57.8 □1) 内・児 23 □2) 精・神 17.7 □3) 外・整 6.0 □4) 産・婦 3.9 □5) 耳  
4.3 □6) 眼 4.0 □7) 皮・泌 2.6 □8) その他 ( ) 1.4 不明

(2) (1)の4)以外の先生におききます。産婦人科を併設していますか。

2.6 □1) はい 86.7 □2) いいえ 10.7 不明

(3) 市町村名 ( ) 市・郡 ( ) 町・村

(各保険医協会毎に集約する関係上、右上の協会名も含め必ずご記入下さい)

(4) 都道府県コード(下段より該当番号をご記入下さい)

□ □

都道府県コード番号表

01	北海道	09	栃木	17	石川	25	滋賀	33	岡山	41	佐賀
02	青森	10	群馬	18	福井	26	京都	34	広島	42	長崎
03	岩手	11	埼玉	19	山梨	27	大阪	35	山口	43	熊本
04	宮城	12	千葉	20	長野	28	兵庫	36	徳島	44	大分
05	秋田	13	東京	21	岐阜	29	奈良	37	香川	45	宮崎
06	山形	14	神奈川	22	静岡	30	和歌山	38	愛媛	46	鹿児島
07	福島	15	新潟	23	愛知	31	鳥取	39	高知	47	沖縄
08	茨城	16	富山	24	三重	32	島根	40	福岡		

### 先生の診療所(病院)のある地域について

問1 先生の診療所(病院)のある地域は、どちらに該当しますか(複数回答可)。

69.7 □1) 市街地 27.1 □2) 非市街地 9.2 □3) ゴルフ場が近くにある地域 0.4 不明

問2 (1) 農業従事者が多い地域ですか。

30.7 □1) 多い 52.6 □2) 少ない 16.1 □3) どちらともいえない 0.6 不明

(2) (1)で多いとお答えの方、下記の中で最も多いと思われるもの1つにレ印をつけて下さい。

71.3 □1) 稲作 19.3 □2) 野菜・果実・花卉・園芸 4.1 □3) ハウス栽培 1.9 □4) その他 3.5 不明

問3 先生の診療所(病院)のある地域は、農薬(除草剤、殺虫剤、燻蒸剤、殺菌剤、以下同じ)はよく使われていると思いますか。

40.0 □1) 使われている 29.7 □2) 使われていない 28.6 □3) わからない 1.7 不明

問4 (1) 先生の診療所(病院)のある地域では農薬の空中散布は行われていますか。

10.6 □1) 行われている 76.2 □2) 行われていない 12.4 □3) わからない 0.9 不明

(2) (1)で「行われている」とお答えの方 問5へ

イ. 散布日時、薬剤名、注意事項などの連絡は市町村、農協より毎回ありますか。

64.4 □1) ある 13.8 □2) ほとんどない 19.0 □3) まったくない 2.8 不明

ロ. 散布の日の中毒被害に対する保健所の救急体制が法律で義務づけられていますが、先生の地域ではその体制がとられていますか。

7.3 □1) いる 26.6 □2) いない 65.4 □3) わからない 1.7 不明

ハ. 農薬の空中散布の時期に、農薬被害が疑われる患者を診察されたことがありますか。

9.0 □1) ある 88.9 □2) ない →問5へ 2.1 不明

ニ. ハで1)とお答えの方、いちばん多かった月とその患者数をお答え下さい。

( 月頃 人位) 15.4 5月 3.8 6月 34.6 7月 15.4 8月  
3.8 9月 3.8 10月 23.1 不明

問5 (1) 近所の空き地、公園、グラウンド等で農薬の散布が行われていますか。

10.9 □1) 行われている 40.3 □2) 行われていない 47.8 □3) わからない 1.0 不明

(2) 学校、幼稚園、保育園の庭等で農薬の散布が行われていますか。

2.8 □1) 行われている 39.6 □2) 行われていない 56.0 □3) わからない 1.6 不明

(3) (1)、(2)で「行われている」とお答えの方、その場所と農薬の種類、製品(商品)名をご存知であればお書き下さい(複数回答可)。

イ. 場所 42.9 □1) 空き地 25.0 □2) 公園 12.0 □3) グラウンド  
16.7 □4) 学校・幼稚園・保育園の庭 18.0 □5) その他 15.8 不明

ロ. 農薬の種類 51.1 □1) 除草剤 40.1 □2) 殺虫剤 1.6 □3) 燻蒸剤  
5.0 □4) 殺菌剤 2.2 □5) その他 21.5 不明

ハ. 農薬の製品(商品)名

(具体的に )

問6 (1) 先生は農薬散布(空中散布、地上散布)によって、ご自身や知人等のペット(犬、猫)、小鳥、昆虫、魚、家畜類が被害を受けたことがありますか。

5.0 □1) ある 92.5 □2) ない →問7へ 2.5 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. その生物名は何ですか(複数回答可)。

30.7 □1) 犬 12.4 □2) 猫 11.7 □3) 小鳥 13.1 □4) 昆虫 44.6 □5) 魚  
5.1 □6) 家畜 14.6 □7) その他 5.1 不明

ロ. 被害の状態をご存知でしたらお書き下さい(複数回答可)。

62.0 □1) 死亡 21.2 □2) 中毒をおこした 11.7 □3) 体に農薬がかかった 12.4 □4) その他 8.0 不明

ハ、使用された農薬の種類、製品(商品)名をご存知でしたらお書き下さい(複数回答可)。

A. 農薬の種類 29.2 □1) 除草剤 4.3 □2) 殺虫剤 2.0 □3) 燻蒸剤  
5.1 □4) 殺菌剤 2.2 □5) その他 34.3 不明

B. 農薬の製品(商品)名

(具体的に、いくつでも)

問7 (1) 先生ご自身、無農薬、低農薬の農産物(穀物、野菜、果物、茶など)の摂取を心がけていますか。

48.4 □1) 心がけている 48.8 □2) 心がけていない →問8へ 2.9 不明

(2) (1)で「心がけている」とお答えの方、ご自身で無農薬、低農薬の農産物を作っていますか。

25.7 □1) 作っている 71.0 □2) 作っていない 3.3 不明

問8 先生ご自身が、ご自宅の庭園や家屋などで農薬を使用しないように心がけていますか。

52.2 □1) 心がけている 16.2 □2) 心がけていない 21.9 □3) どちらともいえない  
9.7 不明

**農薬中毒患者の診療などについて**

問9 (1) この1年間(90年6月~91年5月)に重症の中毒患者を診療したことがありますか。

3.4 □1) ある 93.9 □2) ない →問10へ 2.7 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. 農薬の種類、製品(商品)名をご存知であればお書き下さい(複数回答可)。

A. 農薬の種類 59.8 □1) 除草剤 37.0 □2) 殺虫剤 2.2 □3) 燻蒸剤  
9.8 □4) 殺菌剤 1.1 □5) その他 15.2 不明

B. 農薬の製品(商品)名

(具体的に、いくつでも)

ロ. その重症例は (複数回答可)

42.4 □1) 自殺目的 ( 39 例)

32.6 □2) 農薬散布による ( 30 例)

20.7 □3) 誤飲 ( 19 例)

12.0 □4) その他(具体的に ) ( 11 例)

13.0 不明 12

ハ. その時に都道府県業務課(保健所経由)に「薬品(薬物)中毒届」を提出しましたか。

9.8 □1) 出した 40.2 □2) 出していない

28.3 □3) 中毒届があることを知らなかった 21.7 不明

問10 (1) 重症以外の農薬中毒患者(疑いを含む)を診療したことがありますか。また、それはこの1年間(90年6月~91年5月)で何例ですか(ゴルフ場に関するものを除く)。

11.7 □1) ある ( 319 例) 81.1 □2) ない →問11へ 7.2 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. その原因はなにでしたか(複数回答可)。

- 2.2  1) 空中散布を浴びて 63.9  2) 農家の農薬散布
- 36.7  3) 除草剤を使用した 17.6  4) 殺虫剤を使用した
- 2.5  5) 燻蒸剤を使用した 6.9  6) 自殺目的
- 4.7  7) 誤飲 4.4  8) その他 2.5 不明

ロ. その時の症状は大体どのようなものでしたか(複数回答可)。

- 20.7  1) 眼症状 23.8  2) 鼻・咽喉頭症状
- 56.4  3) 皮膚症状 21.6  4) 消化器症状
- 11.0  5) 循環器症状 15.4  6) 呼吸器症状
- 19.4  7) 神経症状 2.2 不明
- 6.9  8) その他 ( )

( ) (具体的にお書き下さい)

問11 (1) この1年間(90年6月~91年5月)にガン患者を診療したことがありますか。

- 64.3  1) ある ( 1759 人) 20.4  2) ない → 問12へ 5.3 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方は、その患者は以下のどれにあたりますか(複数回答可)。

- 15.6  1) 専業農業従事者 ( 274 人) 22.2  2) 兼業農業従事者 ( 291 人)
- 0.6  3) ゴルフ場関係者 ( 11 人) 0.9  4) ゴルファー ( 16 人)
- 79.0  5) その他 ( 1289 人) 7.6 不明 ( 134 人)

### ゴルフ場での農薬被害について

問12 (1) 先生の診療所(病院)の近く(ほぼ3km以内)にゴルフ場がありますか。

- 20.7  1) ある ( 566 箇所) 75.4  2) ない 3.9 不明

(2) ゴルフ場利用者を含めてゴルフ場関係者および近在の住民の農薬中毒患者(疑いを含む)を診察したことがありますか。また、この1年間(90年6月~91年5月)では何人位でしたか。

- 20.7  1) ある ( 101 人位) 85.7  2) ない → 産婦人科の先生は5頁の問13へ、それ以外の先生は、6頁の「症例」「自由意見欄」へ

(3) (2)で「ある」とお答えの方 (複数回答可)

イ. その患者は以下のどれにあたりますか。

- 70.3  1) ゴルフキャディー・整備員 ( 71 人)
- 25.7  2) その他のゴルフ場職員 ( 26 人)
- 19.8  3) ゴルファー ( 20 人)
- 7.9  4) ゴルフ場近くの住人 ( 8 人)
- 7.9  5) その他(職業名 ) ( 8 人)
- 2.0 不明

ロ. その時の症状はどのようなものでしたか(複数回答可)。

- 32.7  1) 眼症状 29.7  2) 鼻・咽喉頭症状
- 61.4  3) 皮膚症状 12.9  4) 消化器症状
- 5.0  5) 循環器症状 17.8  6) 呼吸器症状
- 9.9  7) 神経症状
- 7.9  8) その他 ( )
- 4.0 不明

( ) (具体的にお書き下さい)

産婦人科(併設も含む)の先生へのご質問  
(それ以外の先生は6頁の「症例」「自由意見欄」へ)

農薬中毒患者(含ゴルフ場勤務者)に流産、奇形の出産が増えていると言われていました。先生  
の病・医院において最近1年間(90年6月~91年5月)に取り扱われた流産の患者および出  
生児の先天性外表的奇形についてお答え下さい。

問13 (1) 出産者総数 ( 20795 人)

(2) そのうち流産患者数 ( 1383 人)

(3) (2)の流産患者の父親の職業

11.3  1) 農業(兼業を含む) ( 26 人)  
0.4  2) ゴルフキャディー・整備員 ( 1 人)  
0.4  3) その他のゴルフ場職員 ( 1 人)  
36.1  4) その他 ( ) ( 83 人)  
62.6 不明 ( 144 人)

(4) (2)の流産患者の母親の職業

8.7  1) 農業(兼業を含む) ( 20 人)  
0.4  2) ゴルフキャディー・整備員 ( 1 人)  
0.4  3) その他のゴルフ場職員 ( 1 人)  
35.2  4) その他 ( ) ( 81 人)  
63.5 146 人

問14 (1) 問13(1)の出産者総数のうち、先天性外表的奇形者数は

23.9  1) ある ( 55 人) 33.0  2) ない →「症例」「自由意見欄」へ  
43.0 不明

(2) その状態は、どういうものでしたか(複数回答可)。

36.4 <input type="checkbox"/> 1) 口唇・口蓋裂	20.0 <input type="checkbox"/> 2) 多指症	4.5 <input type="checkbox"/> 3) 無脳症
9.1 <input type="checkbox"/> 4) 口唇裂	10.9 <input type="checkbox"/> 5) 口蓋裂	3.6 <input type="checkbox"/> 6) 合趾症
20.0 <input type="checkbox"/> 7) タウン症候群	10.9 <input type="checkbox"/> 8) 水頭症	10.9 <input type="checkbox"/> 9) 多趾症
9.1 <input type="checkbox"/> 10) 鎖肛	1.8 <input type="checkbox"/> 11) 耳介低位	5.5 <input type="checkbox"/> 12) 合指症
1.8 <input type="checkbox"/> 13) 臍帯ヘルニア	7.3 <input type="checkbox"/> 14) 耳介変形	9.1 <input type="checkbox"/> 15) 髄膜瘤
0.0 <input type="checkbox"/> 16) 下顎形成不全	1.8 <input type="checkbox"/> 17) 外耳道閉鎖症	1.8 <input type="checkbox"/> 18) 尿道下裂
1.8 <input type="checkbox"/> 19) 短肢症(下肢)	1.8 <input type="checkbox"/> 20) 短肢症(上肢)	3.6 <input type="checkbox"/> 21) 食道閉鎖
0.0 <input type="checkbox"/> 22) 鼻の変形	3.6 <input type="checkbox"/> 23) 欠指症	5.5 <input type="checkbox"/> 24) 小頭症
0.0 <input type="checkbox"/> 25) 脳ヘルニア	7.3 <input type="checkbox"/> 26) 腹壁破裂	0.0 <input type="checkbox"/> 27) 爪欠損
5.5 <input type="checkbox"/> 28) 小眼球症	0.0 <input type="checkbox"/> 29) 耳瘻孔	0.0 <input type="checkbox"/> 30) 小耳症
21.8 <input type="checkbox"/> 31) その他(具体的に)		

(3) (1)の先天性外表的奇形者の父親の職業(複数回答可)。

7.3  1) 農業(兼業を含む) ( 4 人)  
0  2) ゴルフキャディー・整備員 ( 0 人)  
0  3) その他のゴルフ場職員 ( 0 人)  
80.0  4) その他 ( ) ( 44 人)  
14.5 不明 8

(4) (1)の先天性外表的奇形者の母親の職業

- |     |                          |                 |         |
|-----|--------------------------|-----------------|---------|
| 36  | <input type="checkbox"/> | 1) 農業 (兼業を含む)   | ( 2 人)  |
|     | <input type="checkbox"/> | 2) ゴルフキャディー・整備員 | ( 0 人)  |
|     | <input type="checkbox"/> | 3) その他のゴルフ場職員   | ( 0 人)  |
| 764 | <input type="checkbox"/> | 4) その他 ( )      | ( 62 人) |
| 200 |                          | 不明              | 11人     |

**症例について**

先生が診療された症例について具体的にお書き下さい。また、先生ご自身、友人、患者さんがゴルフ場等で農薬被害を見聞されたことがありましたらお書き下さい。(この記入欄で足りない場合は別紙にてお書き下さい)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**自由意見について**

今日の状況から農薬被害や防止、農薬使用の現状等についてご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

尚、農薬中毒等の中毒発生時の処理については、  
(財)日本中毒情報センター「大阪中毒110番 ☎06-451-9999  
つくば中毒110番 ☎0298-52-9999」(24時間交代)  
に連絡すれば指導が受けられます。

# 農薬被害に関する実態・意識調査アンケート

協会

各設問の□内にレ印をつけて下さい。また、( )内には直接ご記入下さい。

不明の場合には、無記入のままで結構です。「複数回答可」の指定以外の質問は、必ず1つだけご回答下さるようお願いいたします。

## 基礎的項目について

(1) 市町村名 ( ) 市・郡 ( ) 町・村  
(各保険医協会毎に集約する関係上、右上の協会名も含め必ずご記入下さい)

(2) 都道府県コード (下段より該当番号をご記入下さい)

--	--

01	北海道	09	栃木	17	石川	25	滋賀	33	岡山	41	佐賀
02	青森	10	群馬	18	福井	26	京都	34	広島	42	長崎
03	岩手	11	埼玉	19	山梨	27	大阪	35	山口	43	熊本
04	宮城	12	千葉	20	長野	28	兵庫	36	徳島	44	大分
05	秋田	13	東京	21	岐阜	29	奈良	37	香川	45	宮崎
06	山形	14	神奈川	22	静岡	30	和歌山	38	愛媛	46	鹿児島
07	福島	15	新潟	23	愛知	31	鳥取	39	高知	47	沖縄
08	茨城	16	富山	24	三重	32	島根	40	福岡		

## 先生の診療所(病院)のある地域について

問1 先生の診療所(病院)のある地域は、どちらに該当しますか(複数回答可)。

66.0 □1) 市街地 29.6 □2) 非市街地 11.2 □3) ゴルフ場が近くにある地域  
0.6 不明

問2 (1) 農業従事者が多い地域ですか。

26.9 □1) 多い 46.7 □2) 少ない 16.0 □3) どちらともいえない  
0.4 不明

(2) (1)で多いとお答えの方、下記の中で最も多いと思われるもの1つにレ印をつけて下さい。

64.3 □1) 稲作 22.7 □2) 野菜・果実・花卉・園芸 2.5 □3) ハウス栽培  
3.0 □4) その他 7.6 不明

問3 先生の診療所(病院)のある地域は、農薬(除草剤、殺虫剤、燻蒸剤、殺菌剤、以下同じ)はよく使われていると思いますか。

4/0 □1) 使われている 22/4 □2) 使われていない 3/42 □3) わからない  
2/4 不明

問4 (1) 先生の診療所(病院)のある地域では農薬の空中散布は行われていますか。

13/8 □1) 行われている 62/5 □2) 行われていない 2/10 □3) わからない  
↓  
問5へ 2/8 不明

(2) (1)で「行われている」とお答えの方

イ. 散布日時、薬剤名、注意事項などの連絡は市町村、農協より毎回ありますか。

67/5 □1) ある 14/1 □2) ほとんどない 14/7 □3) まったくない 3/7 不明

ロ. 散布の日の中毒被害に対する保健所の救急体制が法律で義務づけられています  
が、先生の地域ではその体制がとられていますか。

4/9 □1) いる 8/0 □2) いない 65/3 □3) わからない 1/8 不明

問5 (1) 近所の空き地、公園、グラウンド等で農薬の散布が行われていますか。

15/6 □1) 行われている 25/9 □2) 行われていない 56/3 □3) わからない  
2/2 不明

(2) 学校、幼稚園、保育園の庭等で農薬の散布が行われていますか。

4/0 □1) 行われている 24/9 □2) 行われていない 68/7 □3) わからない  
2/5 不明

(3) (1)、(2)で「行われている」とお答えの方、その場所と農薬の種類、製品(商品)名  
をご存知でしたらお書き下さい(複数回答可)。

イ. 場 所 45/6 □1) 空き地 36/3 □2) 公園 9/3 □3) グラウンド  
14/0 □4) 学校・幼稚園・保育園の庭 22/8 □5) その他  
17/1 不明

ロ. 農薬の種類 52/3 □1) 除草剤 38/3 □2) 殺虫剤 1/0 □3) 燻蒸剤  
2/1 □4) 殺菌剤 0/0 □5) その他 22/8 不明

ハ. 農薬の製品(商品)名

(具体的に、いくつでも)

問6 (1) 先生は農薬散布(空中散布、地上散布)によって、ご自身や知人等のペット(犬、猫)、小鳥、昆虫、魚、家畜類が被害を受けたことがありますか。

6/6 □1) ある 89/4 □2) ない →問7へ 4/0 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. その生物名は何ですか(複数回答可)。

35.9 □1) 犬 14.1 □2) 猫 11.5 □3) 小鳥 9.0 □4) 昆虫 22.1 □5) 魚  
0.0 □6) 家畜 16.7 □7) その他 5.1 不明

ロ. 被害の状態をご存知でしたらお書き下さい(複数回答可)。

57.7 □1) 死亡 23.1 □2) 中毒をおこした 7.7 □3) 体にかかった  
12.8 □4) その他 10.3 不明

ハ. 使用された農薬の種類、製品(商品)名をご存知でしたらお書き下さい(複数回答可)。

A. 農薬の種類 34.6 □1) 除草剤 42.3 □2) 殺虫剤 1.3 □3) 燻蒸剤  
6.4 □4) 殺菌剤 3.8 □5) その他 34.6 不明

B. 農薬の製品(商品)名

(具体的に、いくつでも )

問7 (1) 農薬散布による被害が疑われる症状を見聞きしたことがありますか。

29.5 □1) ある 64.5 □2) ない 6.0 不明

問8 (1) 先生ご自身、無農薬、低農薬の農産物(穀物、野菜、果物、茶など)の摂取を心がけていますか。

64.3 □1) 心がけている 33.1 □2) 心がけていない →(3)へ 2.5 不明

(2) (1)で「心がけている」とお答えの方、ご自身で無農薬、低農薬の農産物を作っていますか。

24.2 □1) 作っている 73.5 □2) 作っていない 1.3 不明

(3) 先生ご自身が、ご自宅の庭園や家屋などで農薬を使用しないように心がけていますか。

56.0 □1) 心がけている 10.0 □2) 心がけていない 24.3 □3) どちらともいえない  
9.6 不明

### ゴルフ場での農薬被害について

問9 (1) 先生の診療所(病院)の近く(ほぼ3km以内)にゴルフ場がありますか。

21.0 □1) ある (24.8 箇所) 76.2 □2) ない 2.8 不明

(2) ゴルフ場利用者を含めてゴルフ場関係者および近在の住民の農薬中毒患者（疑いを含む）を見聞きしたことがありますか。

8.5 □1) ある ( 100 人位) 8.8 □2) ない →自由意見欄へ

4.7 不明

(3) (2)で「ある」とお答えの方

その患者は以下のどれにあたりますか（複数回答可）。

62.0 □1) ゴルフキャディー・整備員 ( 62 人)

10.0 □2) その他のゴルフ場職員 ( 10 人)

20.0 □3) ゴルファー ( 20 人)

25.0 □4) ゴルフ場近くの住人 ( 25 人)

6.0 □5) その他（職業名 ) ( 6 人)

8.0 不明 8人

### 自由意見等について

先生ご自身を含め、友人、患者さんがゴルフ場等で農薬被害を見聞されたことがありましたら具体的にお書き下さい。また、今日の状況から農薬被害や防止、農薬使用の現状等についてご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ご協力ありがとうございました。

尚、農薬中毒等の中毒発生時の処理については、  
(財)日本中毒情報センター「大阪中毒110番 ☎06-451-9999、  
つくば中毒110番 ☎0298-52-9999」(24時間交代)  
に連絡すれば指導が受けられます。

# ゴルフ場勤務者の 健康管理に関するアンケート調査

各設問の□内にレ印をつけて下さい。不明の場合には、無記入のまま結構です。「複数回答可」の指定以外の質問は、必ず1つだけご回答下さるようお願い致します。

回答 390.

## 基礎的項目について

(1) 性別

5.1 □1) 男 92.4 □2) 女 0.5 不明  
20人 368人 2人

(2) 年齢

1.5 □1) 0~19歳 4.1 □2) 20~29歳 10.8 □3) 30~39歳 43.6 □4) 40~49歳  
39.5 □5) 50~59歳 0 □6) 60~69歳 0 □7) 70歳以上 0.5 不明

(3) 既婚、未婚の別

80.0 □1) 既婚 11.0 □2) 未婚 9.0 不明  
312人 42人 25人

(4) 既婚者のみお答え下さい。

あなたの配偶者もゴルフ場勤務者ですか。

4.9 □1) はい 72.3 □2) いいえ 2.8 不明  
19人 282人 11人

## 業務、労働時間等について

問1 あなたの主たる業務はなんですか。

89.2 □1) キャディー 2.6 □2) 場内整備 0.5 □3) 事務 6.4 □4) その他 1.3 不明

問2 1日の平均労働時間(休憩時間も含む拘束時間)はどれくらいですか。

0 □1) 3時間未満 0 □2) 3時間~4時間未満  
1.2 □3) 4時間~5時間未満 8.5 □4) 5時間~6時間未満  
18.7 □5) 6時間~7時間未満 27.7 □6) 7時間~8時間未満  
30.5 □7) 8時間~9時間未満 7.2 □8) 9時間~10時間未満  
4.1 □9) 10時間以上 2.1 不明

問3 (1) あなたは、定期健康診断を受けていますか。

78.7 □1) 必ず受けている 12.1 □2) たまに受けている  
5.9 □3) 受けていない →問4へ 2.3 不明

(2) (1)で1)及び2)に回答された方

農業に関する健康診断を受けたことがありますか。

1.1 □1) ある 88.8 □2) ない 10.1 不明

## 最近の健康状態について

問4 (1) 最近1カ月に体の異常がありましたか。

43.1 □1) あり 50.0 □2) なし →3ページの注)へ  
6.9 不明

(2) (1)で「あり」と回答された方

その異常の状態に該当するものがあればすべてにレ印をつけて下さい。

- 42.3  1) 目の痛み・かすみ・充血の症状  
30.4  2) 皮膚の痛み・かゆみ・ただれ等の症状  
22.6  3) 息苦しかったり、せきが出たりした  
12.5  4) 全身がだるく、はきけ、嘔吐があり食欲がない  
17.9  5) 動悸・いきざれ・胸がしめつけられるような症状  
30.4  6) 頭痛  
49.4  7) 腰痛  
45.2  8) 肩・腕・肘(ひじ)の痛み、炎症  
27.4  9) 足関節部・くるぶし部の痛み、炎症  
3.6  10) 小便が出にくい  
26.8  11) 腹痛・便秘・下痢症状  
18.5  12) 手や足のしびれ、手足の力のぬけた感じ  
11.3  13) あまり動かないのに汗が出る  
0.6  14) よだれが出やすい  
18.5  15) 口がかわく  
12.5  16) めまいがする  
17.3  17) まぶたや筋肉がひくひくする  
7.1  18) 手足がふるえる  
36.3  19) 横になりたい  
20.2  20) 頭がぼんやりしたり、話をするのがいやになる。  
16.1  21) 根気がなくなり、考えがまとまらない  
16.7  22) ちょっとしたことが気になりいらいらする  
22.1  23) 忘れっぽくなり、間違いが多くなる  
36.3  24) ねむい  
15.5  25) ねられない  
10.1  26) 気分が悪い  
1.2  27) その他(具体的に  
2.4 不明

(3) あなたは、これらの症状が出たときに医師の診察を受けましたか。

- 16.7  1) 必ず受けた 29.3  2) 受けたり受けなかったり  
34.5  3) 受けなかった → 3ページの注)へ 9.5 不明

(4) (3)で1)または2)に回答された方

イ. あなたは、診察を受けたとき、農業による影響ではないかという疑問を医師に訴えましたか。

0.  1) 訴えた 84.0  2) 訴えなかった 8.5  3) 不明 7.4 不明

ロ. 診察を受けたとき、症状の原因を医師は何と診断しましたか。(複数回答可)

- 1.1  1) 農業の影響  
27.7  2) 農業に無関係のゴルフ場の労働にかかわるもの  
27.2  3) その他  
11.7  4) 原因不明  
25.5 不明

ハ. 最近1カ月間の治療について、その治療日数は何日でしたか。

- 36.2  1) 1日～2日 9.6  2) 3日～4日  
8.5  3) 5日～6日 5.3  4) 7日  
2.1  5) 8日以上14日未満 10.6  6) 14日以上 27.7 不明

ニ. 入院しましたか。それとも通院しましたか。

- 1.1  1) 入院した 2.2  2) 入院・通院の両方 71.3  3) 通院した 24.5 不明

- (5) ニ、で1)、2)に回答された方  
 その入院日数はつぎのどれにあたりますか
- 0  1) 1日～2日                      0  2) 3日～4日  
 0  3) 5日～6日                      0  4) 7日  
 25.0  5) 8日以上14日未満        25.0  6) 14日以上  
 50.0 不明

注) 既婚の女性は →問5へ  
 既婚の男性は →問7へ  
 未婚の男性、女性は →問8へ

### 流・早産との関連について

問5 既婚の女性のみお答えください。

(1) 流・早産(人工のものを除く)されたことがありますか。

17.2  1) ある 49.8  2) ない →問6へ        23.0 不明

(2) その回数はつぎのどれにあたりますか。

62.7  1) 1回                      25.5  2) 2回  
 2.0  3) 3回                      2.0  4) 4回  
 0  5) 5回                      0  6) 6回以上        7.8 不明

(3) 同じく流・早産の経験が「ある」と回答された方

それはあなたのゴルフ場勤務の時期との関係ではいつですか。

17.6  1) 勤務後                      3.9  2) 勤務後も前も両方  
 72.5  3) 勤務前                      5.9 不明

(4) (3)で1)及び2)に回答された方

その流・早産は勤務後何年にあたりますか。(複数回答可)

0  1) 1年まで                      9.1  2) 2年まで  
 45.5  3) 3年まで                      0  4) 4年まで  
 18.2  5) 5年まで                      18.2  6) 5年以上        9.1 不明

問6 (1) お子さんはいますか。

79.8  1) いる 2.0  2) いない →問8へ        18.2 不明

(2) (1)で「いる」とお答えの方

お子さんに先天的な身体および精神の異常がありますか。

2.1  1) ある 87.8  2) ない →問8へ        10.1 不明

(3) (2)で「ある」とお答えの方

そのお子さんの出生はあなたのゴルフ場勤務の時期との関係ではいつですか。

0  1) 勤務後                      0  2) 勤務後も前も両方  
 40.0  3) 勤務前                      60.0 不明

(4) (3)で1)及び2)に回答された方

そのお子さんの出生は勤務後何年にあたりますか。(複数回答可)

0  1) 1年まで                      0  2) 2年まで  
 0  3) 3年まで                      0  4) 4年まで  
 0  5) 5年まで                      0  6) 5年以上

問7 既婚の男性のみお答え下さい(奥さんがゴルフ場勤務か否かは無関係にお答え下さい)。

(1) あなたの奥さんは流・早産(人工のものを除く)されたことがありますか。

21.4  1) ある 64.3  2) ない →問8へ        14.3 不明

(2) (1)で「ある」とお答えの方

イ. その回数はずきのどれにあたりますか。

- 100.0  1) 1回     2) 2回     3) 3回  
 4) 4回     5) 5回     6) 6回以上

ロ. それはあなたのゴルフ場勤務の時期との関係ではいつですか。

- o  1) 勤務後     2) 勤務後も前も両方  
66.7  3) 勤務前

ハ. ロで1)及び2)に回答された方

その流・早産はあなたの勤務後何年にあたりますか。(複数回答可)

- 1) 1年まで     2) 2年まで     3) 3年まで  
 4) 4年まで     5) 5年まで     6) 5年以上    100.0 不明

(3) お子さんはいますか。

- 42.9  1) いる    14.3  2) いない →問8へ    42.9 不明

(4) (3)で「いる」とお答えの方

お子さんに先天的な身体および精神の異常がありますか。

- o  1) ある    10.0  2) ない →問8へ

(5) (4)で「ある」とお答えの方 → o

そのお子さんの出生はあなたのゴルフ場勤務の時期との関係ではいつですか。

- 1) 勤務後     2) 勤務後も前も両方  
 3) 勤務前

(6) (5)で1)及び2)に回答された方 → o

そのお子さんの出生は勤務後何年にあたりますか。(複数回答可)

- 1) 1年まで     2) 2年まで     3) 3年まで  
 4) 4年まで     5) 5年まで     6) 5年以上

### 農薬散布について

問8 農薬散布についておたずねします。

(1) あなたの勤務されているゴルフ場では、農薬散布に際してゴルフ場側から安全面に対する配慮や対策があなたやゴルファーに対してなされていますか。

- 19.2  1) されている    12.9  2) 不十分だがされている  
23.0  3) されていない    44.9  4) わからない

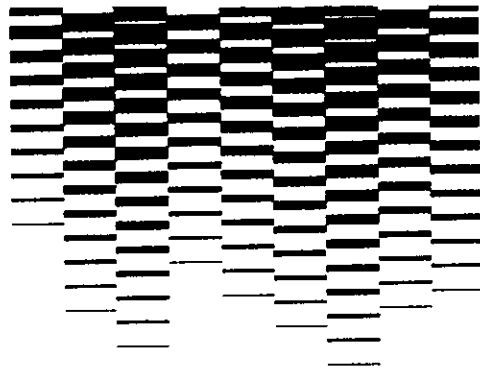
(2) あなたの勤務されているゴルフ場では、農薬散布の日時、散布農薬の種類が周辺住民に対して周知徹底されていますか。

- 19.8  1) されている    3.2  2) 不十分だがされている  
18.7  3) されていない    58.3  4) わからない

### 自由意見について

ゴルフ場勤務者としてのご意見がありましたらお書き下さい。

○お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



- ・ ハウス栽培者の自律神経失調症あり。農薬中毒の疑い。
- ・ 慢性的結膜充血の患者があつたが転職後軽快した。
- ・ 結膜炎、角膜損傷。
- ・ 一過性の眼症状は毎年多数みられる。
- ・ 大規模ハウス栽培の従事者のめまい、胸痛、脱力感。
- ・ 専業農業従事者に神経症状、めまい、嘔気、脱力感あり。慢性中毒の疑い。
- ・ 防具なしでスミチオンを使用し、両上肢のしびれ感、末梢神経障害を起こした。
- ・ 柿、ぶどうの消毒により、顔面に浮腫と疼痛が生じた。
- ・ 造園業の盛んな地域である。急性皮膚炎、全身薬疹をしばしば見る。毎年同時期に殺虫剤を散布し、繰り返し発症している。
- ・ ハウス内での散布により、慢性湿疹。悪化した。
- ・ 平成1年に右前腕に農薬がかかり以後毎年5月初旬になると皮膚炎を起こす。ガサガサで痒みがひどい。
- ・ 微量でも農薬による皮膚炎は重症を呈する。
- ・ 使用上の注意を守っているながら、皮膚炎を起こした例あり。

## ◎空中散布による中毒

- ・ 小児の意識障害、脳症があつた。
- ・ 池の鯉が50匹以上、猫10匹が死亡した。
- ・ 歩行中に空中散布された薬剤を浴び、四肢、顔面に著明な皮膚炎をおこした。1か月持続した。

## ◎ゴルフ場関係

(職員)

- ・ キャディ2年半。全身倦怠、頭痛、めまい、嘔気、食思不振で徐々にやせてきた。貧血以外、検査データには異常なし。
- ・ キャディ10年。この3年程、再発性皮膚炎で受診。難治であつたが、転職して以後は再発なし。
- ・ 全身倦怠
- ・ 除草剤使用により前腕、手に紅斑、小水疹が時々出現する。

- ・ 芝生よりの水しぶきで皮膚炎をおこした。
- ・ 芝生よりの水しぶきが眼に入り、充血、角膜びらんをおこした。
- ・ 視力障害、角膜潰瘍。
- ・ 農薬散布の仕事に従事しはじめてから、2～3週間後、両手指、手掌の皸裂性皮膚炎で指紋消失、表皮脱落し、指尖萎縮がおこった。全手指の先端が鉛筆を削ったようになっている。

(プレイヤーなど)

- ・ 芝生に寝転んで、露出部に発赤、腫脹、丘疹が生じた。
- ・ プレー後咽頭痛が1週間持続した。
- ・ ゴルフに行くと喘息様咳が出る。
- ・ 散布直後のコースでプレーをし、頭痛、嘔気など気分が悪くなった。
- ・ 夏期に軽度の農薬中毒が疑われる患者がかなり多くある。めまい、腹部異常等で中毒かどうかの鑑別が困難なものが多いが、プレー中の眼症状や農薬のにおいを臭いで喉に異常がおきたなど農薬が直接関係していると思われるものもある。
- ・ 暑い日のプレー後、全身こむらがえり、嘔気、嘔吐、頭痛が出現した。下肢のこむらがえり症例もあった。
- ・ 1ラウンドプレー後、通常のハイキングなどでは考えられない喉のいがらっぽさを感じる。
- ・ プレーの翌日から口唇および口の周辺に炎症、数日間持続。何度も繰り返し、ゴルフ場の農薬によるものと断定した。3年前ゴルフをやめてからは全く症状は出ていない。
- ・ プレー後、手に多発性水疱が2例あった。ゴルフに行くと出現している。
- ・ ゴルフ場下流の地下水を飲用する地区の住民に肝機能の異常が出ている。  
(公立病院の住民健診による) 役場の指示により、井戸を深くすることで発生が少なくなっている。梨、ぶどう、桃などの果樹栽培が盛んな土地ではあるが、果樹農家でない人の肝機能異常の発生は隣接するゴルフ場で使用される農薬の影響ではないかと推測している。
- ・ ゴルフ場下流域の住民、特に井戸水を使用する家庭の子どもに歯の白色斑が多い。
- ・ ゴルフ場のコース一面にトンボの死骸をみた。

○ 1日の平均労働時間

8時間～9時間未満	119人(30.5%)
7時間～8時間未満	108人(27.7%)
6時間～7時間未満	73人(18.7%)
5時間～6時間未満	33人(8.5%)
9時間～10時間未満	28人(7.2%)
10時間以上	16人(4.1%)
4時間～5時間未満	5人(1.3%)
不明	8人
合計	390人

- 労働時間は8時間～9時間未満が最も多く、10時間以上も16人あった。全体に長時間労働といえる。

1. 健康診断の受診状況

(1) 定期健康診断の受診状況

必ず受けている	307人(78.7%)
たまに受けている	51人(13.1%)
受けていない	23人(5.9%)
不明	9人
合計	390人

(2) 定期健康診断受診者のうち農薬に関する健康診断の受診状況

受けたことがない	318人(81.5%)
受けたことがある	4人(1.0%)
不明	36人
合計	358人

- 定期健康診断は8割の受診率がありながらも農薬に関する健康診断の受診は、1%であり、農薬を常時に散布する職場としてゴルフ場側が励行すべき農薬に関する健康診断は殆ど実施されていないと思われる。

## 2. 最近の健康状態について

### (1) 最近1か月間の体の異常の有無

ない	195人 (50.0%)
ある	168人 (43.1%)
不明	27人
合計	390人

・168人(43.1%)も健康の異常を訴えていることは注目しなくてはならない。

### (2) 体の異常の状態

(複数回答)

腰痛	83人 (50.6%)
肩、腕、肘の痛み、炎症	76人 (46.3%)
目の痛み、かすみ等	71人 (43.3%)
眠い	61人 (37.2%)
横になりたい	61人 (37.2%)
忘れっぽくなったりする	54人 (32.9%)
皮膚の痛み等	51人 (31.1%)
頭痛	51人 (31.1%)
足関節部等の痛み、炎症	46人 (28.0%)
腹痛、便秘、下痢等	45人 (27.4%)
息苦しい	38人 (23.2%)
頭がぼんやりする	34人 (20.7%)
口がかわく	31人 (18.9%)
手や足のしびれ等	31人 (18.9%)
動悸、息切れ等	30人 (18.3%)
臉や筋肉がびくびくする	29人 (17.7%)
ちょっとしたことが気になる	28人 (17.1%)
根気がなくなる	27人 (16.5%)
不眠	26人 (15.9%)
めまい	21人 (12.8%)
全身がだるい、食欲不振	21人 (12.8%)
余り動かないのに汗が出る	19人 (11.6%)
気分が悪い	17人 (10.4%)
手足が震るえる	12人 (7.3%)
小便が出にくい	6人 (3.7%)
よだれがでやすい	1人 (0.6%)
その他	2人 (1.2%)

## 5. 勤務するゴルフ場での農薬散布について

### (1) 農薬散布の際の勤務者やゴルファーに対する安全対策

わからない	129人(33.0%)
されていない	66人(16.9%)
されている	55人(14.1%)
不十分だがされている	37人(9.5%)
不明	103人
合計	390人

職員やゴルファーへのゴルフ場の安全対策は「わからない」と「されていない」が半数を占め、「されている」、「不十分だがされている」はわずか23.6%に留まっていた。農薬散布による安全対策は、不十分といえる。

### (2) ゴルフ場の農薬散布の日時、農薬種類の周辺住民への周知徹底

わからない	165人(42.3%)
されている	56人(14.4%)
されていない	53人(13.6%)
不十分だがされている	9人(2.3%)
不明	107人
合計	390人

農薬散布に関する住民への周知徹底は、「わからない」が42.3%もあり、「されている」と「不十分だがされている」が16.7%しかなかった。勤務者への安全対策が不備なことと同様、農薬散布の日時などの住民への通知という重要な義務も励行されていないようである。

「農薬被害に関する実態・意識アンケート調査結果」

正 誤 表

<誤>

<正>

5 頁上から 2 行目 <2> 歯科について

<1> 医科について

9 頁上の表

1) な い	76人(23.9%)
2) あ る	55人(33.0%)
不 明	99人(43.1%)
合 計	230人

1) な い	76人(33.0%)
2) あ る	55人(23.9%)
不 明	99人(43.1%)
合 計	230人

1 3 頁、7、空地、グラウンド、公園等で散布されている農薬の製品（商品）  
名。殺虫・殺菌剤の表の 3 段目

パダンパラサ

パダンバッサ

1 7 頁上から 2 行目 <1> 医科について

<2> 歯科について

○最近1か月の治療日数

1日～2日	34人(36.2%)
14日以上	10人(10.6%)
3日～4日	9人(9.6%)
5日～6日	8人(8.5%)
7日	5人(5.3%)
8日～14日	2人(2.1%)
不明	26人
合計	94人

○入院日数

8日～14日	1人
14日以上	1人
不明	2人
合計	4人

- ・ 受診した94人のうち1日～2日の短期治療が34人(36.2%)と多かったが14日以上も10人あり、入院も4人あった。

### 3. 流・早産との関連について

(1) ゴルフ場勤務後の流・早産経験者：11人(既婚女性の3.7%)

○流・早産の勤務後の年数

1年以上～2年	1人
2年以上～3年	5人
4年以上～5年	2人
5年以上	2人
不明	1人

(2) ゴルフ場勤務後、配偶者の流・早産のあったもの：1人(勤務後の年数不明)

- ・ 勤務後の流・早産経験者は11人(既婚女性の3.7%)であった。産婦人科医対象の調査で農業従事者の流・早産患者が5.1%であったのに比べると若干低い、他の職業との比較などで農薬との因果関係など追跡調査をする必要がある。

### 4. 先天性外表的奇形との関係

○子供に先天性の奇形の有無

ない	208人(87.8%)
ある	5人(2.1%)
不明	24人

- ・ ゴルフ場勤務者の子供の先天性外表的奇形の発生は5人(2.1%)であったが5人ともゴルフ場勤務前であり農薬が関与している可能性は低い。しかし、農薬には催奇性が疑われるものもあり、今後も調査を続けていく必要がある。

- ・ 症状は腰痛や他の関節の痛みを訴える人が50%を越え、眼の痛み、かすみ、皮膚症状および神経症状を訴えた人が各々30%以上あった。労働や農薬の影響によるものと考えられる。

(3) 医師への受診状況

○ 医師の受診の有無

受けたり受けなかったり	66人 (16.9%)
受けなかった	58人 (14.9%)
必ず受けた	28人 (7.2%)
不明	16人
合計	168人

- ・ 異常のあった人のうち「受診した人」は24.1%と「全く受けなかった人」を上回っている。

○ 農薬の影響を医師に訴えたか

訴えなかった	79人
訴えた	0人
不明	8人
合計	87人

- ・ 常に農薬に接触する職業でありながら体の異常のある人のうち農薬の影響の疑いを医師に訴えた人は1人もいなかった。

○ 医師の診断

ゴルフ場の労働に関わるもの	26人
農薬の影響	1人
その他の原因	35人
原因不明	11人
不明	24人
合計	97人

医師は通常患者の訴えに基づき診療をするため、患者が農薬の影響ではないかという疑問を訴える必要を感ずる。

## ゴルフ場勤務者の 健康管理に関するアンケート調査

- 調査対象：全国のゴルフ場勤務者 390人
- 調査期間：1991年6月～7月

### 調査の目的

- ゴルフ場で多量に散布される農薬による健康被害は医師にとっても憂慮すべき問題である。滋賀で昨年行なった調査では農薬散布量の多いゴルフ場職員に流・早産経験者が多数報告されていた。そこで、直接被害を受け易いゴルフ場勤務者の健康状態に散布される農薬がどのように関わっているのかを調査し、併せてゴルフ場の農薬散布における勤務者や付近住民などへの安全対策についても実態を調査した。

### ○性別

女	368人
男	20人
不明	2人
合計	390人

### ○年齢

0～19歳	6人 (1.5%)
20歳代	16人 (4.1%)
30歳代	42人 (10.8%)
40歳代	170人 (43.6%)
50歳代	154人 (39.5%)
不明	2人
合計	390人

### ○主な業務

キャディー	348人 (89.2%)
場内整備	10人 (2.6%)
事務	2人 (0.5%)
その他	25人 (6.4%)
不明	5人
合計	390人

- ・ 回答者の89.2%はキャディーであった。重労働でありながら、40～50歳代の中老年層が最も多かった。

## ◎自宅の庭、空地等での散布によるもの

- ・ 除草剤（国の許可の下りたものを規定量）を散布した空地で、散布後1時間くらい経過して子どもが遊び、その夜から発赤、浮腫が出現した。
- ・ 農地や個人の庭に散布中に付近を通りかかり、喉の異常をおこした。軽度であるが難治である。
- ・ 家庭菜園で使用して呼吸器アレルギーをおこした。
- ・ 樹木に殺虫剤を散布し、動悸、めまい、嘔吐が出現した。精神的過剰反応との境界は判断が困難である。
- ・ 自宅の庭に殺虫剤を散布し、重症の皮膚炎をおこした。
- ・ 自宅の庭の除草、殺虫により露出部に皮膚炎をおこしたものの7例。
- ・ 自宅の庭に除虫剤を使用し、1時間後に頭痛、気分が悪くなった。同日夜より飼犬の様子がおかしくなり（流涎、散瞳）、3日後に死亡した。
- ・ 隣家で散布された除草剤により流涙、鼻咽頭痛をおこした。
- ・ 自宅の庭で殺虫、殺菌、除草剤を使用し、ブドウ膜炎をおこした。

他に接触性皮膚炎、眼症状、全身倦怠等が多数報告されている。

## 症例報告の詳細

### ◎農業、造園業等従事者

- ・ 野菜に消毒剤を散布した翌日、子どもがその野菜を勝手に調理して食べ、突然嘔吐、意識不明となった。（救急治療により救命）
- ・ 住民健診で、時々肝機能の異常を認める。（一過性）
- ・ 肝機能障害が多い。
- ・ みかんの消毒剤（ダイセン）の使用により、肝機能障害が多発していた。（現在は生産量の低下により少なくなっている）
- ・ 梨園で防護装備をせず頻回に散布していた男性に肝内胆管癌が発症した。梨の実にも袋かけをしていないという。
- ・ 防具なしの駆虫剤散布により、全身倦怠、強度の羞明、軽度の散瞳。
- ・ ハウス内での散布により軽度～中度の中毒症状。
- ・ ハウス内での散布（マスク使用）により、強度の嚥下痛、咳嗽時少量出血あり。急性鼻咽喉カタルで、鼻咽喉～下咽頭に発赤、乾燥著明で、処々びらん、点状出血を認めた。
- ・ 茄子に散布した殺虫剤により、呼吸困難、眼痛、両上腕部に強度の発赤とかゆみ。
- ・ コンニャク畑の土壌消毒剤を吸入し、気管の痛み、強い咳。
- ・ みかん農家の薬剤性肝障害。
- ・ T I A 様症状に肝炎を併発した。症状出現がいつも散布の後で、次第に重症となった。約1年で治癒。
- ・ 散布後数週間で胎内死亡。
- ・ 花木生産業者がビールを飲むたびに意識不明となる。発作前の状況を調べると、防具なしでランネットを使用していることがわかり、ランネットの使用禁止により改善。
- ・ 園芸店経営の夫婦に脳波異常が認められた。（女性の方は一過性であった）スミチオン、ディブテレックスをよく使う。
- ・ 散布の夜から精神不安、激しいイライラ感が出現した。
- ・ 手足関節部に薬剤によると思われる潰瘍。
- ・ 除草剤散布中に逆風となり、相当量の薬剤を浴びる。鼻汁、咽頭痛、軽度の呼吸困難、皮膚炎を起こした。咽頭粘膜の発赤が著明で喘鳴を認めた。